

帰国後の教育現場への還元

グローバル社会で生きていく

「日本人」の育成

新潟大学 教育学部 附属新潟小学校

18-1 ドミニカ共和国 清野 真輝

1. 任国での活動について

- 派遣国 … ドミニカ共和国
- 期 間 … 平成18・19年度
- 要請内容

「小学校教員の
算数指導力向上」



1. 任国での活動について

[課題]

- ・ 年間指導計画、教科書、ドリル なし。
→ 指導内容は、教員の知識や経験任せ

[取組]

算数指導のシステム化

- ① 児童用学習プリント
- ② 教師用指導書
- ③ 学年会で指導内容を確認
- ④ 指導進度の管理
- ⑤ 教材教具の作成と管理
- ⑥ 状況把握のための授業モニタリング

① 児童用学習プリント

Suma con 2 cifras (3/8)

☆ $D0 + D0$

José compró 20 lápices. María compró 30 lápices.
¿Cuántos lápices compraron ellos en total?

① Operación =

| | |
|----|---|
| D | U |
| 20 | |

 +

| | |
|----|---|
| D | U |
| 30 | |

② $20 + 30 =$ Respuesta lápices

② 教師用指導書

Los puntos claves

El concepto de División
"La división equivalente"

Definición 1: "División" es repartir en partes iguales una cantidad.

Definición 2: "División equivalente"

Cantidad de total \div Cantidad de grupos

Definición 3: bien $\dots 12 \div 4$
mal $\dots 4 \div 12$

3-A
En la ma...

Aprendo la tabla de multiplicación del 2
¿Cuántas naranjas hay?

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|----|----|----|----|----|
| 2 | 4 | 6 | 8 | 10 | 12 | 14 | 16 | 18 |
|---|---|---|---|----|----|----|----|----|

$2 \times 1 = 2$ dos por uno dos $2 \times 6 = 12$ dos por seis doce
 $2 \times 2 = 4$ dos por dos cuatro $2 \times 7 = 14$ dos por siete catorce
 $2 \times 3 = 6$ dos por tres seis $2 \times 8 = 16$ dos por ocho dieciséis
 $2 \times 4 = 8$ dos por cuatro ocho $2 \times 9 = 18$ dos por nueve dieciocho
 $2 \times 5 = 10$ dos por cinco diez

③ 学年会で指導内容の確認



④ 指導進度の管理



⑤ 教材・教具の作成と管理



⑥ 状況把握のための 授業モニタリング

1. 任国での活動について

[成果]

- 着任後, すぐに活動に取り組めた。(約1年半)
- スローガン「負担軽減」が受け入れられた。

- 「算数指導のシステム化」の定着
- 13／15学級において, 正答率UP ↗
- 年間の指導単元数の増加

↑
「教員の算数指導力は, ある程度向上」

2. 活動からの学び

○ 日本の教育のよさを再認識

- ・ カリキュラム, 教員研修制度

▲ 国際社会における“日本”の認知度の低さ

- ・ 「中国人」, 「日本は, 中国の領土の一部」
- ・ 「日本」=「TOYOTA」, 「HONDA」... のみ

⇒ 日本のさらなる国際貢献の必要性

学校教育において...



グローバル社会で生きていく「日本人」の育成

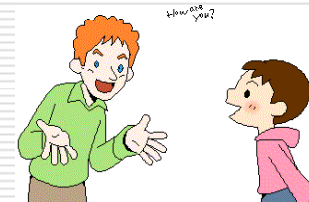
3. 帰国後の教育現場への還元

[現場復帰]

○ 新たな小学校へ転勤（復帰3年目）

○ 校務分掌

① 「外国語活動」の研究



② 「中国の小学校との交流」の推進



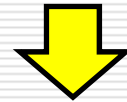
グローバル社会で生きていく「日本人」の育成

3. 帰国後の教育現場への還元

① 「外国語活動」の研究

グローバル社会で生きていく「日本人」の育成

小学校で目指す子どもの姿



外国人と臆せず、積極的に
コミュニケーションを図ろうとする子ども

- (1) 「コミュニケーション」への見方や考え方を変容させる。
- (2) 外国人と交流することの意義に気付かせる。

3. 帰国後の教育現場への還元

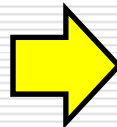
①「外国語活動」の研究

外国人と臆せず、積極的に
コミュニケーションを図ろうとする子ども

(1) 「コミュニケーション」への見方や考え方を**変容**させる。

英語を
知らないから、
私には無理。

語彙や表現
のみに依存



知っている英語を
工夫して使えば、
結構通じるのね！

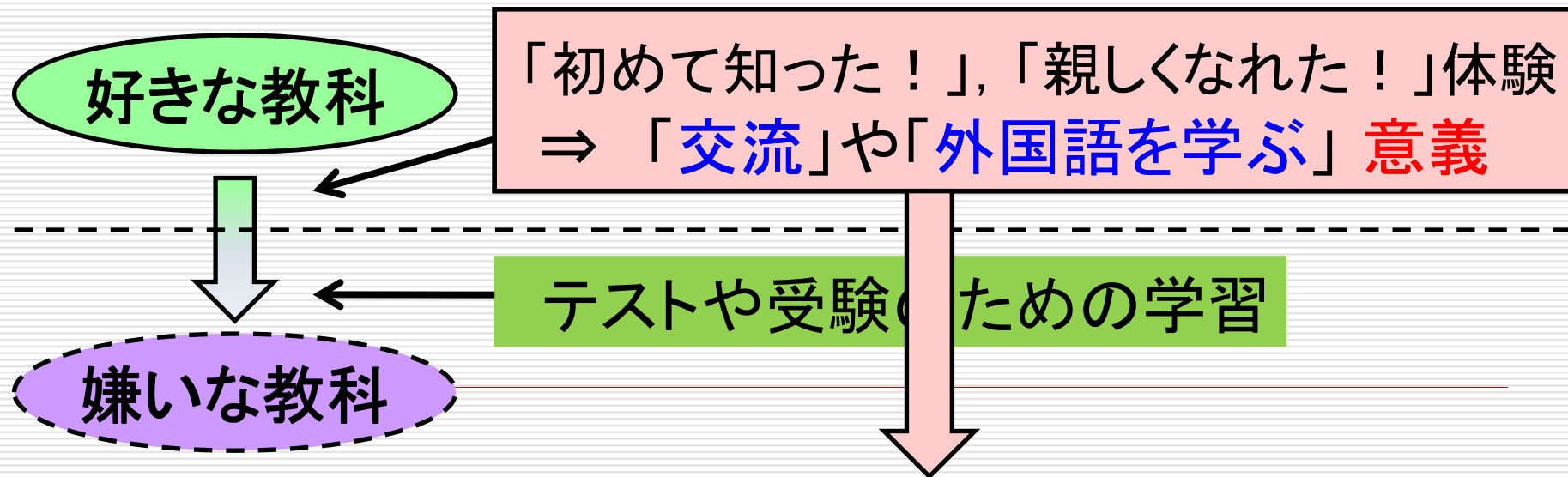
コミュニケーション
の図り方を習得

3. 帰国後の教育現場への還元

①「外国語活動」の研究

外国人と臆せず、積極的に
コミュニケーションを図ろうとする子ども

(2) 外国人と交流することの意義に気付かせる。



3. 帰国後の教育現場への還元

①「外国語活動」の研究

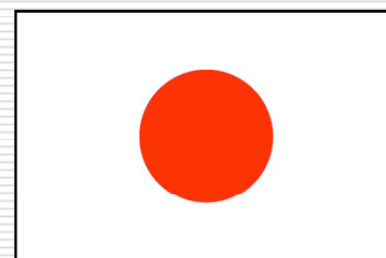
外国人と臆せず、積極的に
コミュニケーションを図ろうとする子ども



平成23年2月9日(水), 10日(木)
附属新潟小学校 初等教育研究会 開催!

3. 帰国後の教育現場への還元

② 「中国の小学校との交流」の推進



北京師範大学実験小学校

附属新潟小学校

本交流の特色

- (1) 職員・保護者同士の**直接**交流
- (2) 子ども同士の**直接**交流

3. 帰国後の教育現場への還元

(1) 職員・保護者同士の直接交流



ア. 国際交流への
理解を深める



イ. 「教育フォーラム」開催
(教育課題の検討)

3. 帰国後の教育現場への還元

(2) 子ども同士の直接交流



5年生20名程度

7月：北京→新潟

3月：新潟→北京

3. 帰国後の教育現場への還元

② 「中国の小学校との交流」の推進

- 形式的な交流は長続きしない。
まず、大人が「人と人との国際交流」を知る。
 - 子どもが活躍できる場を作る。そのために、授業で子どもに必要な力を付けておく。
 - 相手と対等な関係を築くこと。
相手の考えを尊重し、よく話し合うこと。
-

御清聴，ありがとうございました。

- 赴任国の方々と，よい時間を！
- 日本からの親善大使として，
「日本のよさ」を存分にアピール！

新潟大学教育学部附属新潟小学校

清野真輝

seino@fusho.ngt.niigata-u.ac.jp